

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

国際地域学部は、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材を育成するという大学の目的及び学部の理念を基礎として、地域や国際社会が抱える複雑な諸課題を探究し、課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけ社会実装につなげる教育の実施によって、地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成することを教育目標としています。

この教育目標を踏まえ、国際地域学部では、教育課程編成・実施の方針に基づいて編成された科目を履修し、履修規程に定められた単位数を修得するとともに、以下のような知識や能力を身につけ、グローバル化や地域の構造的変化に伴う複合的な課題に対処できる人材を求める地域の期待に応えることができると認められた者に対して学位を授与します。

1. 幅広い教養と専門的知識

倫理観や社会的責任の基礎ともなる幅広い教養と、人文・社会科学分野を中心とした専門的な知識・能力を有している。

2. 調査・分析能力と課題解決能力

地域や国際社会の抱える課題と発展可能性を探り、科学的方法を用いて調査・分析することができ、その課題の解決と可能性の実現を通して、グローバル社会の発展と地域創生及びそのマネジメントに貢献する知識・能力・技能を有している。

3. 異文化理解力とコミュニケーション能力

グローバル化する社会において求められる国際的な視野や批判的思考力を身につけ、外国語運用能力も含めた多文化共生を支える異文化理解に関する知識とコミュニケーション能力を有している。